

# よこはま 中区の歴史を 碑もとく絵地図

## 西洋スポーツ流入編

横浜が開港した1859(安政6)年以降、  
中区には西洋のスポーツ文化も流入することに。  
その足跡をたどりませんか。

### ●ラグビー発祥の地

日本・アジアで最初のラグビークラブが設立されたのは1866(慶応2)年。英国駐屯兵らが「横浜フットボールクラブ」を山下町で立ち上げた。当時のフットボールはラグビーとサッカーが未分化のスポーツだったが、当時のイラストや記録からラグビーに近い試合が行われていたことが分かっている。

その後1901(明治34)年、横浜公園で慶應義塾と横浜クリケット&アスレチッククラブ(YC&AC)がラグビーの試合を行った。慶應義塾の学生たちはイギリス留学経験をもつ英語教師E・B・クラークと田中銀之助にラグビーの指導を受けていた。日本人がラグビーの試合を行ったのはこれが初めてとされている。



◀上図と同じ図。横浜で行われた試合を描いたイラスト『ザ・グラフィック』1874年4月18日号より/横浜開港資料館所蔵



地図 ラグビー発祥の地

### ●横浜公園クリケットグラウンド

慶応の大火(1866年)により焼失した港崎遊郭の跡地に、外国人(彼)と日本人(我)が共同で使用できる公園として、1876(明治9)年、彼我公園が完成。公園の中央に作られたクリケットグラウンドには、イギリスから取り寄せた洋芝が敷き詰められた。これが日本で初めての芝生運動場であり、現在の横浜スタジアムの起源である。

野球(1896年)、ラグビー(1901年)、フットボール(1904年)、ホッケー(1907年)など、さまざまなスポーツにおいて、日本最初の国際試合がこの地で行われた。



地図 横浜公園



▲明治10年代の横浜公園とクリケットグラウンド(横浜開港資料館所蔵)

### ペリー提督一行に披露された力士の怪力

日米和親条約の締結交渉中の1854(嘉永7)年、アメリカ側への米二百俵の運搬や相撲の披露などに江戸の力士が動員された。

白真弓肥太右衛門は大きな体と怪力を生かして五斗俵8俵を一度に持ち運び、とりわけアメリカ人を驚かせた。また、試しに相撲を取りたいと願い出たアメリカの水兵が小柳常古と対戦することに。小柳は三人同時に相手をして圧倒し、彼等の肝を奪った。



▲ペリー一行が見た日本相撲(『ペリー日本遠征記』より/横浜開港資料館所蔵)

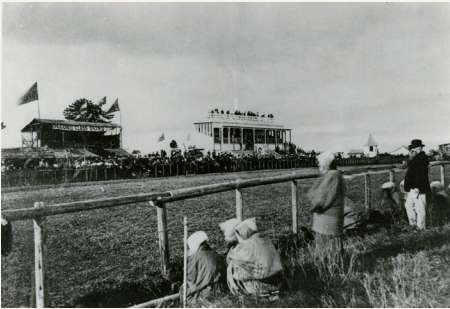
きんだいけいば はじ

## ●近代競馬の始まり

日本初の洋式競馬は1860(万延元)年、居留外国人が本村(現在の元町商店街一帯)に完成させた馬蹄形(ばてい)の非公式馬場で行われた。

本格的な洋式競馬会が行われたのはその2年後。居留外国人が横浜新田(現在の中華街一帯)に仮設の環形馬場を造り、正式に番組を決めて開催した。この馬場は翌年閉鎖され、山手居留地のイギリス駐屯軍練兵場(現在の諏訪町一帯)の一角に移される。1865(慶応元)年にはここで初めて日本人士官が本格的な競馬レースに参加した。

そして1866(慶応2)年、幕府により日本初の本格的洋式競馬場である根岸競馬場(現在の根岸台・箕沢)が完成。この場所に現存する馬見所は、その後1929(昭和4)年にJ.H.モーガンの設計に基づき着工し、1930(昭和5)年に竣工したものである。



◀明治初期の根岸競馬場  
〔『ファー・イースト』  
1870年11月16日号より/  
横浜美術館所蔵〕



地図 旧根岸競馬場  
一等馬見所

てっぽうば よ やまとちょうどお

## ●「鉄砲場」と呼ばれた大和町通り

イギリス公使の要求を受け、1865(慶応元)年、根岸村字立野(現在の和町通り)に射撃場が設けられた。無料でこの土地を借りたイギリス側は、自国軍だけでなく他国の居留外国人や日本人にも射撃場を開放した。同年、横浜居留地のスイス人による「スイス・ライフル・クラブ」(SST)が、日本で初めてのライフル射撃競技大会を開催。この大会で優勝した村田経芳は、その後も各種大会で優勝を重ねている。

根岸競馬場ができる前まで、イギリス軍はここを射撃場としてだけでなく、競馬会にも使用した。またこの辺りではアイススケートや陸上競技が行われていたことも知られている。



◀スイス・ライフル・射撃大会  
〔『ファー・イースト』  
1871年6月1日号より/  
横浜開港資料館所蔵〕



地図 大和町通り

にほんていきゅうはっしょうち

## ●日本庭球発祥の地

ローンテニス(ローンテニス)は1874(明治7)年にイギリスで考案された。その2年後には居留外国人女性により日本で最初のローンテニス・クラブ「レディース・ローンテニス・アンド・クロッカー・クラブ」(LLTCC)が設立。このクラブが1878(明治11)年に神奈川県から妙香寺境内の6718坪を借用して、山手公園内に5面のテニスコート<sup>みょうしょうじ</sup>を自費で造成した。ここが日本における近代テニス発祥の地である。



◀明治20年代の山手公園  
のテニスコート  
(横浜開港資料館所蔵)



地図 日本庭球発祥の地